

天竜高校 部活動ガイドライン

1 部活動における本校の教育目標の位置付け

教育目標	地域の自然や文化を愛し、地域の発展に貢献することができる人材を育成するとともに、自らの目標に向かって粘り強く努力し、未来を切り拓くことのできる人材を育成する。
目標具現化の柱	○基本的生活習慣を確立し、時間、マナー、ルールを守ることのできる生徒を育成する。 ○爽やかな挨拶を励行するとともに、感謝の気持ちを素直に表現できる生徒、他の生徒の努力を認めることができる生徒を育成する。また、いじめ、迷惑行為、暴力行為を絶対に許さない雰囲気を醸成する。 ○学校行事、ホームルーム活動、清掃、部活動に積極的に参加する生徒を育成する。 ○ボランティア活動、校外活動に積極的に参加する生徒を育成する。

2 部活動の活動目標、活動時間及び成果目標

区 分	目 標
活 動 目 標	○仲間や教員とともに活動することで、自分や人を大切にする力、組織の一員として協働する力を育てる。(リスペクト、チームワーク) ○仲間や教員との関わりを通じて、相手の考えを理解する力、自分の考えを伝える力を育てる。(理解力、コミュニケーション力) ○大会やコンクール等への参加を通して、自分をコントロールする力、目標に向かって努力する力、様々な状況に適応する力を育てる。(自律、向上心、適応力) ○生徒や教員が、家族と過ごしたり自己を研鑽したりする時間を十分確保できるよう、効率の良い活動に努める。
活 動 時 間	○平日の活動は長くとも3時間程度、週休日(学校休業日)の活動は4時間程度とする。 ○週2日の休養日を設定し、うち1日は週休日とすることを原則とする。各部の実状に応じて運用できることとするが、年間を通じて100日程度の休養日を設け、そのうち半分程度を週休日(学校休業日を含む)とするよう努める。
成 果 目 標	○「部活動に一生懸命取り組んでいる」と答える生徒の割合： 80%以上 ○各部活動が年度当初に設定した目標を達成する部活動の割合： 70%以上

3 部活動の活動計画表等の作成及び公表

年間活動計画及び月間活動計画を作成し、生徒や保護者に情報提供する。